

Y-279

伏見城

初代の指月山伏見城が地震で倒壊したため、豊臣秀吉が木幡山に新造。絢爛豪華な城だったが戦火で焼失、徳川家康によって再建。跡地に桃の木が植えられたことから桃山城とも。

築城種類	平山城	築城者	豊臣秀吉
築城年	文禄元年(1592)	廃城年	元和9年(1623)
天守	模擬天守	見学	無料(立入禁止区域あり)
遺構	曲輪、石垣、堀など		
住所	京都府京都市伏見区桃山町大蔵		
アクセス	JR 桃山駅から徒歩		

伏見城は3度にわたって築城されたそうで、1592年に指月山に築かれたものを指月山伏見城、後に木幡山に再築されたものを木幡山伏見城、伏見城の戦いで焼失した跡に徳川家康によって再建された徳川期伏見城と区別されています。残念ながら城内見学はできませんでした。

京都府

F17



桜満開の伏見城 (SNSより)

Y-281

淀城

京都府

F18

城主が激しく入れ替わるも、稲葉正知が入城してからは幕末まで稲葉氏の居城となった。豊臣秀吉の側室・淀殿の産所だった淀古城と区別して、新淀城とも呼称される。

- 築城種類** 平城
- 築城者** 松平定綱
- 築城年** 元和9年(1623)
- 廃城年** 明治4年(1871)
- 天守** 無
- 見学** 無料
- 遺構** 曲輪、石垣、天守台、堀など
- 住所** 京都府京都市伏見区淀本町
- アクセス** 京阪電気鉄道淀駅から徒歩



城跡全体に手入れがあまりなく草木は伸び放題の感じでした。また天守台の入口は鉄門(半分壊れかけ)があり入れませんでした。それでもなくとも草露で入りづらかったと思います。隣には與杼神社(よどじんじゃ)があり、小雨の中でも参拝者がちらほら訪れてお参りをし、ある参拝者は茅のリングを何回かぐってお参りしていました。あとで調べますとこれは、――「夏越の大祓」・茅の輪をぐり―― 祓の行事で初めて知りました。



<茅の輪ぐりの由来> 設置期間;今年は6/23~6/30
「夏越の大祓」・茅の輪をぐって罪や穢れを落とす祓の行事。

天守台



本丸跡



Y-287

信貴山城

別名； 信貴城、磯城

県内最大規模の城郭を誇り、信貴城とも呼ばれる。織田信長に反旗を翻した松永久秀の居城で、織田軍に囲まれた久秀が茶釜「平蜘蛛」を手に城もろとも爆死した逸話が有名。

築城種類	山城	築城者	木沢長政
築城年	天文5年(1536)	廃城年	天正5年(1577)
天守	無	見学	無料
遺構	曲輪、土塁、堀、門跡		
住所	奈良県生駒郡平群町信貴山		
アクセス	近畿日本鉄道信貴山下駅からバス		



「信長軍が攻める信貴山城」(「香川元太郎」氏のイラスト、観光所にて掲出)

反信長の拠点
として敗った

信貴山城

信貴山城跡へのアクセスで難儀しました。途中の案内看板はなく、ここだと思われる道は「この先行き止まり・Uターン困難」なる看板が数ヶ所ありましたが、道路にはタイヤ痕があるので、私の車(軽・4輪駆動)の機動性ならば大丈夫だろうと決心入っていきました。途中2・3の分岐点を行ったり戻ったりでやっとそれらしい箇所(信貴山城跡の看板)を見つけました。

信貴山城の幟があちこちにあり、松永久秀屋敷跡では武士人形のおもてなしを受けました。

ここから城跡へは今までは雲泥の差で急勾配の狭幅の道となり、途中までジグザグ道(オフロード)にトライしましたが危険と判断し断念しました。誰もおらず熊の恐怖も頭を過りました。



4層の天守櫓が建っていたと推定されている本丸跡地

恐竜電車

2024.06.30

FY-04

えちぜん鉄道

※パナ旧ドメインのOB会からの帰福時に偶然遭遇発見した恐竜電車でした。
残念ながら回送となってしまったため、外観からの撮影でした。

恐竜電車に遭遇（福井駅停車）

